

無月経のアスリート用

2022年6月1日作成 (この用紙は、2023年3月31日まで使用可能です)

卵巣から分泌される女性ホルモン(エストラジオール)は、骨強度を保つ作用があります。無月経により長い間このエストラジオールが低い状態のままでいると、骨強度が低下し、アスリートの場合、疲労骨折のリスクを高めることがわかっています。

受診後の検査や治療については受診機関の医師の判断となりますが、下記に国立スポーツ科学センターで無月経に対し行っている検査項目を記載しておりますので、受診時の参考にしてください。

《検査項目》

【必須項目】

卵胞刺激ホルモン(FSH)、黄体形成ホルモン(LH)、エストラジオール(E₂)、プロラクチン(PRL)、遊離テストステロン、プロゲステロン(P₄)、甲状腺刺激ホルモン(TSH)、甲状腺ホルモン(f-T₃、f-T₄)、超音波検査(困難な場合はMRI)、身長、体重、体脂肪率

【必要に応じて】

骨密度、骨代謝マーカー(TRAP-5b、BAP等)、栄養調査等